

各高等学校長様
テニス部顧問様

令和 8 年 4 月 1 日
兵庫県高等学校体育連盟テニス部
阪神支部部長 桂川 大助

阪神高等学校テニス大会団体戦 人数の差異による勝敗の決定方法

人数不足によって、S1・S2・S3・D1・D2 の合計 7 人対 7 人の対戦ができない場合、以下のルールに従って対戦を行うものとする。

ルール

ルール 1. 人数の少ない方のチームにおける最大の人数が出場できるように対戦を行う。

例) 6 人: S1・S2・D1・D2 5 人: S1・S2・S3・D1

ルール 2. 最大数の試合ができるように対戦を行う。

例) 5 人: S1・S2・S3・D1 … ○ S1・D1・D2 … ×

ルール 3. 5 つの対戦における対戦が行われない試合に関して、対戦ができない方のチームの負けとする。

ルール 4. 5 つの対戦のうち偶数 (4 または 2) 対戦が行われ、かつ、引き分け (2 - 2 または 1 - 1) になった場合、両チームの※取得ゲーム率の高い方の勝ちとする。取得ゲーム率が同じ場合は S1 の対戦において勝利した方の勝ちとする。

※ 取得ゲーム率 = (全ての試合の取得ゲーム合計数) ÷ (全ての試合のゲーム合計数)

対戦例

A (7 人) vs B (6 人)				
S1・S2・D1・D2 の対戦を行う。S3 は A の勝ち。				
	A	B	対戦	勝ち
S1	①	①	○	
S2	②	②	○	
S3	③	—	—	A
D1	④⑤	③④	○	
D2	⑥⑦	⑤⑥	○	

A (6 人) vs B (4 人)				
S1・S2・D1 の対戦を行う。D2 は A の勝ち。				
	A	B	対戦	勝ち
S1	①	①	○	
S2	②	②	○	
S3	—	—	—	—
D1	③④	③④	○	
D2	⑤⑥	—	—	A